

RELATIONS MAGAZINEバックナンバー

2020年春より発行してきたRELATIONS MAGAZINEのバックナンバーをお届けします。
紙媒体での送付をご希望の方は、お気軽に事務局までお問合せください。

- Vol.4 距離を超えた可能性広がる オンライン特集号
- Vol.5 【特集】 ボランティアメンバーの本音。
- Vol.6 【特集】 地域と教育にふれる～地域と教育にふれる滞在型プログラムの事例から
- Vol.7 “179RELATIONS.net”は どうやってつくられているのか
- Vol.8 持続可能な地域の未来を考えるテキストブックを作成しました！
- Vol.9 【特集】 浜益版集落の教科書ができました
- Vol.10 “リレフェス22”オンライン関係人口フェスティバル開催決定！
- Vol.11 オンライン関係人口フェスティバル“リレフェス22”開催しました！

全ての紙面には各時期のトピックを記載しています。右記のURLよりご覧いただきます →



関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、北海道各地の”地域に関わる「入り口」”をつくります。ひとつひとつのまちや活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性を大切にしながら、若者をはじめとする次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域がつくられていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ① 「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます。
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS.net」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や活動がありましたらお気軽にお問合せください。



運営団体「NPO法人ezorock」とは



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立されました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

2021年度実績
活動日数 543日 人数のべ1535人 地域 13市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

RELATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock 

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB <https://www.ezorock.org/>  <https://lin.ee/ugUhj0g>

 <https://www.facebook.com/ezorock/>  <https://twitter.com/ezorock/>

<https://179relations.net/>



<https://www.ezorock.org/>



RELATIONS MAGAZINE! 2023.3 vol.12

持続的な北海道に向けた関係人口を
活用した次世代育成事業

ACTIVITY
REPORT

活動報告書

2020-2022



<https://179relations.net/>

RELATIONS 

持続的な北海道に向けた関係人口を活用した次世代育成事業について

当団体では2020年度からの3年間、休眠預金を活用して「関係人口」と「社会教育」を切り口に青年層と一緒に地域づくりに取り組み、担い手を育てる仕組みづくりを行う事業を実施してきました。最終年度を迎えた本事業について、事業を表す数字と共にご報告いたします。

3事業

3年間で3つの柱で事業実施

【事業概要】主に社会教育セクターと連携し、次世代の担い手となる青年層が育ち続ける仕組みづくりを目的に事業を実施。

- ① 石狩市浜益区でのモデルづくり
- ② 北海道各地で青年層が活動する機会づくり
- ③ 事例をまとめた冊子の作成、配布

2020年

石狩市浜益区の拠点整備を始め、過去の情報収集やコロナ対策等3年間の基礎となる活動を開始。

2021年

地域づくり事例や専門家との意見交換の様子を動画と冊子にまとめる。大学自治体との意見交換も進める。

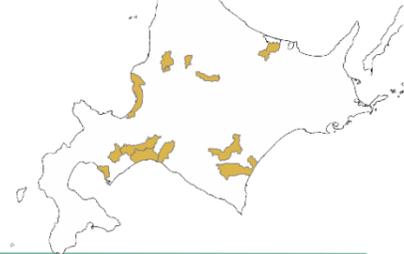
2022年

冊子の配布、意見交換を重ねながら関係人口として地域外から訪れる若者の存在や社会教育分野の知見を広めた。

2254人

各地で活動した若者

石狩市浜益区、厚真町、鷹栖町を始め、13地域でのべ2254人の若者が活動。



6件

石狩市浜益区での視察受け入れ

石狩市浜益区では、遊休施設を活用した滞在型活動拠点「浜益ベース」を整備し、モデル地区として活動を実施してきた。その中で6件の視察受け入れを行った。特に、本紙vol9で特集した「浜益版集落の教科書」制作に関しては、他地域での展開の相談を5件受け、地域資源の掘り起こしとしてはコストを削減しながら地域に関わる人が増加するツールとして注目された。



また、受入担当者へのヒアリングからは地域の外から人が関わることにより、地域住民によるまちづくり活動が増加したり、郷土愛が高まった、他の地域との連携が進んだなど波及効果も生まれていることがわかった。さらに、地域での活動が増加したことは新聞への掲載数に表れており、北海道新聞での浜益区の露出数は3~4年で増加している。

162本

WEBマガジン記事

活動参加者のリアルな声をまとめたWEBマガジンには162本の記事が公開され、活動を伝えるツールとなった。

2020	2021	2022
57本	58本	47本
49,112ビュー	50,515ビュー	46,301ビュー

23件

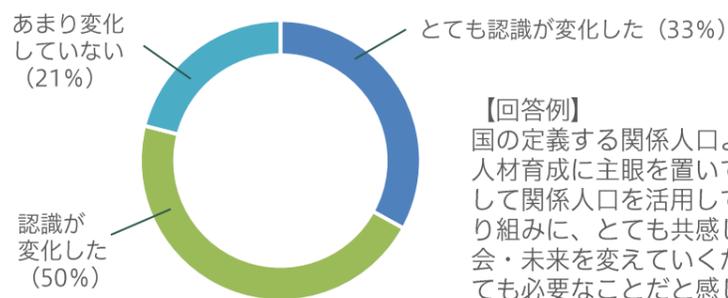
メディア掲載

北海道新聞を始め、多数のメディアで活動が紹介された。取り組み自体が取り上げられることもあれば、活動メンバーにフォーカスした記事も。

79%

地域外からの人の受入に関する意識の変化

本事業では自治体担当者、地域NPO、社会教育セクターへの情報提供や連携した事業を実施。その結果、関係者（関心者を含む）の内79%が当団体の取り組みによって地域外からの人の受入に関して認識が変化したと回答。

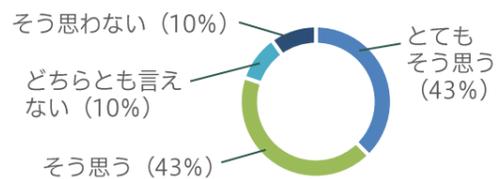


【回答例】国の定義する関係人口よりも、人材育成に主眼を置いて手法として関係人口を活用している取り組みに、とても共感し、社会・未来を変えていくためにとても必要なことだと感じている。

81%

活動参加者の意識

地域づくりに多くの住民が関わる必要性を聞くとランダム抽出（2020年度当団体実施）の57%に対し、活動に参加した若者では81%が必要性を感じており、社会や地域への関心度が高まる傾向にあることがわかった。



34地域

事例と専門家との対話をまとめた冊子配布

26人の専門家、自治体担当者、活動参加者と対話しテキストブックを作成。全道各地の34の地域（団体）に手渡して配布し意見交換を行った。



休眠預金について

2018年に施行した「休眠預金等活用」に基づき、社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度。全国で700以上の事業が展開される。当団体では北海道では最初の活動実行団体10の内のひとつとして、事業に取り組んできた。中間レポートや休眠預金自体については右記から。



活動日数のべ11日 ボランティアミーティング回数94回 運営メンバー24人 (2023年1月~3月)

続々更新中!



冬の秩父別町でおためし協力隊プログラム!

ACTIONS 166

冬から地域と環境を考える

ACTIONS 165

かまど料理と秋の空に鷹栖町

ACTIONS 168

176 RELATIONS RADIO 7 ゲスト 尾崎八重子さん・巻島純一朗さん

ACTIONS 151

月1度は森のつくり

ACTIONS 157

WEBマガジン記事ピックアップ

2月6日 ソフトコト関係人口入門 (179リレーションズ)

1月18日 北海道新聞 (鷹栖町まちlabo)

報道採録

3月 1~2日 あったかす体験プログラム @鷹栖町
14日 リレーションシップ研修最終報告会
17日 176 RELATIONS RADIO #8 ゲストクマ活 村上晴花さん

2月

1日~ 石狩市浜益区地域おこしインターン 着任
9~11日 石狩市浜益区 おためし地域おこし協力隊 プログラム
27日 176 REPORT VOL 5 「森のようちえん、行ってきました」配信

1月

13~15日 秩父別町おためし地域おこし協力隊プログラム
28日 鷹栖町社会教育フォーラム
28日 浜益雪かき&ボードゲームづくり

カレンダー